

メンタルヘルス通信



ココロ リフレッシュルーム Vol:44 2011・2・15

○高齢運転者標識デザインリニューアル

みなさん高齢運転者標識が平成23年2月1日にリニューアルされたことをご存知でしょうか。リニューアル前のものは、しずくのような形で、オレンジ色と黄色の2色のマークでしたが、新しい標識は、四葉の形をしており、黄色、黄緑色、緑色、オレンジ色の4色で塗り分けられたデザインに変更されました。新しい標識は、運転免許試験場で販売が開始されたそうです。当分の間は、変更前の標識も使用可能だということです。

高齢運転者標識の対象者は、普通自動車を運転する免許を受けている70歳以上の人であり、加齢に伴い生じる身体機能の低下が自動車の運転に影響を及ぼす恐れがあるためとされています。初心運転者標識（初心者マーク）の場合は初心者が表示をしていないと罰則が科せられますが、高齢運転者標識の場合は、対象者が標識をつけていなくても罰則は科せられません。

高齢運転者標識を自動車につけていると、高齢者という看板を背負わされているような気分になり、自分の自動車に表示することに抵抗を感じる人も少なくはないそうです。いつまでも車を運転していきたいという気持ち、運転できないと不便だという気持ちも理解できるように思います。高齢運転者標識の表示を避けたいという気持ちがなんとなくわかるような気がしました。それでも、高齢運転者による交通事故件数が伸びているようで、事故に遭って欲しくないという思いから免許を手放してほしいという家族も多いそうです。家族の気持ちもよくわかります。私たちも日頃から交通ルールを守り注意して運転しましょう。



○春が来る

今年の立春は2月4日でした。つまり暦の上ではもう“春が来た”ということになります。あたたかな日差しや日の長さ、太陽の高さなど、春の訪れを感じられるような日もありますが、雪がどっさりと降り積もる日や寒さが厳しい日もあり、春になったと実感できるまでには、まだまだ時間がかかりそうですね。

ここでみなさんに質問です。「雪が溶けたら何になりますか？」答えは浮かんできましたか？この質問を大人にすると、「水」とか「気体」といった物質的な変化を答える人が多いのですが、同じ質問を子どもにしてみると、すぐに「春になる！」という答えが返ってきます。みなさんはどのような答えが浮かんだのでしょうか。私はこの質問を受けた時、残念なことに“春”という素敵な答えはしばらく考えても浮かんできませんでした。自分の頭の固さにショックでした。この質問に正解はありませんが、子どもの方が感受性豊かな答えで情緒があると思いませんか？大人は知的に処理をしがちです。大人になると何か大切なものを見落としてしまうのでしょうか。四季の変化を感じることができるよう、頭も心も身体も柔らかくほぐしたいと思いました。伊達市では春の訪れを告げる福寿草が花開いたそうですよ！



§ 2 2 : 個人と組織 その2

前回から「組織」について考えています。組織という言葉はどこかかたくて、私たちの日常からは遠いように感じられるかもしれませんが、組織について考えてみると意外と身近なもので、私たちも毎日の生活の中で組織とかかわっていると感ずることができのではないのでしょうか。今回は、組織の一員として働くことを中心に考えていきたいと思ひます。



○ワークモチベーション

みなさんは“モチベーション”という言葉の意味を知っていますか？モチベーションという言葉は日常でも使う機会のある言葉ではないかと思ひます。モチベーションは、“仕事への意欲”や“やる気”を意味する言葉です。みなさんは自分の仕事にやりがいを持っていますでしょうか。日々、意欲的に働くことはできていますか？ワークモチベーションがあがらず、ただなんとなく業務をこなすだけになってしまう日もあるかもしれませんね。生き生きと働いていくためにも、なぜこの仕事をしているのか、自分なりの意味を持ち、意識して働くことが大切です。

能力が高ければ仕事の出来が良くなるというわけでも、ワークモチベーションが高ければ良いというわけでもありません。能力とワークモチベーション、このどちらが欠けても満足いくできにはなりません。組織全体で考えてみると、いくら能力の高い個人が集まっていたとしても、その人たちのワークモチベーションが低いなら、十分な成果を上げることは難しくなります。組織として成果を上げるためには、個人のワークモチベーションを高め、維持していくことも大切だということがわかります。



○意味づけをする

組織の一員として働いていると、自分の意に反したことが起きたり、予想に反した出来事が起こることもあります。一人で働いているわけではないので自分の思った通りにならないこともあります。そういった時、私たちには予想外の出来事を自分なりに意味づけして受けとめていく力が求められます。意味づけとは、新しい出来事を理解し、自分にとって意味を持つこととして受けとめることです。それが予想外の出来事であったとしても、自分なりに意味づけることで、モチベーションを維持することができます。例えば、思いがけない異動があった時に、新しいことにチャレンジできるきっかけなどと意味づけます。出来事に対して自分なりに納得することのできる意味を持つことで、ワークモチベーションも高まり、維持していくことができます。私たちは一人で働いているわけではありません。組織全体の目標にかかわる課題をチームで取り組んでいます。チームで目標を共有し、協力し合いながら働いています。目標や働いている意味がわからなくなってしまう時は、一緒に働いている仲間と目標を再確認してみましょう。



立春を迎えたといえども、北海道はまだまだ冬です。ブラックアイスバーンでのスリップなどたくさんの危険がひそんでいます。冬の運転にはいつも以上に気をつけなくてははいけませんね。

***気になることがある方はまずお電話下さい。ココロ リフレッシュルーム 0142-76-4780**

社会福祉法人 幸清会 ・ 社会福祉法人 大滝福祉会